

番号:C-1



【制作者のデザインコンセプト】

津久井道の宿場町・登戸の渡し・善立寺・梨・下駄・鮎等をモチーフとし、江戸時代に津久井と江戸とを結ぶ、流通の道、歴史・文化を連想させる津久井道を表現しました。

番号:C-2



【制作者のデザインコンセプト】

多摩川の名産である鮎や梨をモチーフに使い、街道として軒を連ねた津久井道を描きました。背景には、江戸時代から身近な文様だった三崩し柄と玉石をイメージしています。

番号:C-3



【作者のデザインコンセプト】

下駄をメインに津久井道にまつわるモチーフで構成しました。(小泉橋、二ヶ領用水、多摩川梨、禅寺丸柿、黒川炭、津久井の絹、相模川の鮎、柏屋のなまず)下駄はほぼ実物大にしている、下駄の上に立つと足元からモチーフがとびだすような絵になります。フォトスポットになるといいなと期待しています。